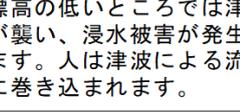
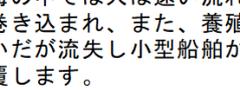


防災意識の高揚～津波災害に備えて

11月5日は「津波防災の日」、「世界津波の日」です。
津波について正しい知識を持ち、津波災害に備えましょう。

津波警報・注意報の分類

【気象庁資料参照】

種類	予想される津波の高さ		想定される被害	とるべき行動
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の 津波の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	巨大な津波が襲い、木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！ 
津波注意報	1m 20cm<高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 	海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。 

とるべき行動

【津波警報・注意報が発表されたら。。。】

「より高いところ」を目指して逃げよう！

- 津波はとても速いので、津波を見てから逃げたのでは間に合いません。
- 津波は海の深いところでは、ジェット機ぐらいの速さで襲ってきます。
- 「車で逃げれば大丈夫」と思ってませんか？
渋滞などにより、円滑に避難できない恐れがあります。
原則、徒歩で避難しましょう。

避難所ではなく目指すところは「避難場所」！

- どこで津波の被害に遭うかわかりません。
お住まいの地域や旅行先の「津波の避難場所」を確認しておきましょう。
- 避難経路やいざという時の行動などを家族やまわりの人と話し合っておくことが大切です。

【気象庁資料参照】